

Mini Disclosure

2020

JALしみずの概況
ミニディスクロージャー誌



ごあいさつ

組合員や地域の皆様には、平素より、ご理解・ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

日頃よりお取引をいただいております皆様に、JAしみずの経営方針や経営内容をわかりやすくご紹介するため、本年もディスクロージャー誌を作成しましたので、何卒ご覧いただきますようお願い申し上げます。

政府による貿易自由化や農協改革の推進など、農業・農協を取り巻く環境は厳しさを増す中、事業においては日銀による低金利政策継続の影響を受けて、これまでJA経営を支えてきた信用事業を中心に苦戦を強いられている状況が続いております。このような中で私たちは、JA事業の原点である農産物の生産拡大に取り組み、本来的使命である農業振興による農家組合員の農業所得の向上を推し進めるため、JAグループ一体となった農政活動や農業経営支援に努めなければなりません。また、昨今の新型コロナウイルス感染症拡大といった有事の際にも、その公共的使命に鑑みた業務継続体制の維持、農家組合員の農業経営支援、事業収益の確保に努めJAの存在意義を示す必要があります。

令和元年度において私たちJAは、自己改革に向けた取り組みを継続する中で、アンテナショップきらりを中心とした買取販売の強化を進め、柑橘類を含む多くの農産物において農家所得の向上に努めただけでなく、パッケージセンターの稼働や農福が連携して取り組んだ労働力の確保等により、生産拡大に向けた生産者の出荷調整作業の軽減、しみずみらい応援団の本格始動による社会貢献活動等にも尽力しました。

組合員をはじめとする利用者の皆様が当JAを利用して頂いた結果、事業利益は235百万円となりました。更に、令和2年3月期の自己資本比率は、13.24%と最低自己資本比率規制の4%を大きく上回っており、利用者の皆様に安心して利用して頂ける財務状態を確保しております。

最後に、JAしみずは、すべての組合員や地域の皆様に満足いただける取り組みを展開するとともに、「農協があつて良かった」といわれる農協を確立し、将来にわたり安定した経営を目指してまいりますので、今後とも一層のご支援・ご理解を賜りますよう心からお願い申し上げます。



代表理事組合長
柴田 篤郎

令和2年7月

概 要

令和2年3月末現在

設 立	1972年10月1日
本店所在地	〒424-0192 静岡県静岡市清水区庵原町1番地
組 員 数	正組合員 6,465人 准組合員 19,294人 合計 25,759人
出 資 金	29億4,478万4千円
役 員 数	理事26人 監事 6人
職 員 数	389人(うち正職員345人)

経営理念

私たちは、「農協があって良かった」といわれる農協を確立し、地域から愛され、組合員とともに歩む農協を樹立します。

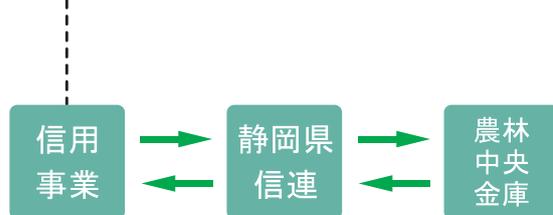
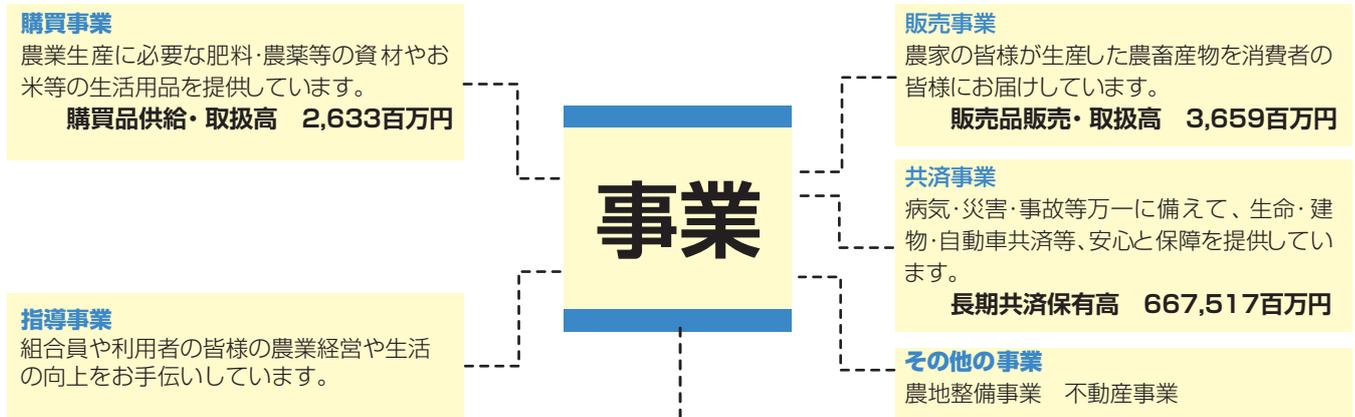
3か年計画(令和2~4年度)

(1) 農業の生産拡大

- 【基本目標1】 生産拡大に直結する農業振興を行います
- 【基本目標2】 JA事業で生産拡大を強力に後押しします
- 【基本目標3】 生産拡大を応援する組合員組織を育成します

(2) 経営環境に対応した事業・経営の転換

- 【基本目標4】 新時代に対応した信用・共済事業改革を行います
- 【基本目標5】 収支均衡に向けた経済事業改革を行います
- 【基本目標6】 組合員の意思反映に基づく組合運営を図ります
- 【基本目標7】 持続可能な経営基盤を確立・強化します



安心の「JAバンク」システムです。

貯金残高 298,379 百万円
貸出金残高 77,970 百万円

■「JAバンク」システム

JAバンクは、貯金・ローンなど様々な金融サービスを通して皆様の暮らしをサポートします。

「JAバンクシステム」とは、静岡県下JA・静岡県信連をはじめ全国のJA・信連・農林中央金庫が実質的に1つの金融機関(JAバンク)として機能し、組合員・利用者の皆様により一層の「便利さ」と「安心」をお届けするためのシステムです。JAバンク(JA・信連・農林中央金庫)は豊富な資金量とワイドなネットワークを活かして総合金融サービスを提供し、組合員・利用者の皆様の生活の向上に取り組んでいます。

決算のあらまし

財産の状況 [貸借対照表]

資産の部

(単 位:百万円)

	2018年度	2019年度
現金	752	864
預金	205,784	207,357
有価証券	13,632	15,049
貸出金	77,267	77,970
貸倒引当金	▲350	▲312
その他資産	24,002	24,165
合計	321,090	325,094

負債・純資産の部

(単 位:百万円)

	2018年度	2019年度
貯金	293,779	298,379
引当金	1,663	1,956
その他負債	5,949	5,422
(負債計)	301,392	305,757
純資産	19,697	19,336
合計	321,090	325,094

(注)百万円未満を切り捨てて表示しているため合計に不突合があります。

預金:静岡県信連等へ預け入れて運用しています。

有価証券:国債等を購入し運用しています。

貸倒引当金:信用事業資産(貸出金)等の貸倒れに備えての準備金等です。

その他資産:土地、建物などの固定資産、未収金等の雑資産、系統機関等への出資金等です。

その他負債:借入金・未払金・仮受金等の雑負債等です。

純資産:皆さまからの出資金、法定準備金、任意積立金、当期末処分剰余金等です。

経営成績 [損益計算書]

(単 位:百万円)

	2018年度	2019年度
事業総利益	3,894	3,885
うち信用事業総利益	1,984	1,980
事業管理費	3,725	3,649
事業利益	169	235
経常利益	412	463
税引前当期利益または税引前当期損失(▲)	386	▲47
当期剰余金または当期損失金(▲)	214	▲89
当期末処分剰余金	483	618

(注)百万円未満を切り捨てて表示しているため合計に不突合があります。

事業総利益:各事業収益から各事業直接費を差し引いた金額の合計です。

事業管理費:人件費、業務費、諸税負担金、施設費等、労働や施設の管理に必要な費用です。

事業利益:事業総利益から事業管理費を差し引いた差額です。

経常利益:事業利益に受取出資配当金等の事業外収益を加え、支払利息等の事業外費用を差し引いた金額です。

税引前当期利益または税引前当期損失(▲):経常利益に固定資産処分益等の特別利益を加え、固定資産処分損等の特別損失を差し引いた金額です。

当期剰余金または当期損失金(▲):全ての収益から費用・損失・法人税等を差し引いた金額で一般企業の当期純利益に相当します。

当期末処分剰余金:当期剰余金に前期繰越剰余金などを加えた金額です。

健全経営チェックポイント

自己資本比率【健全経営のバロメーター】

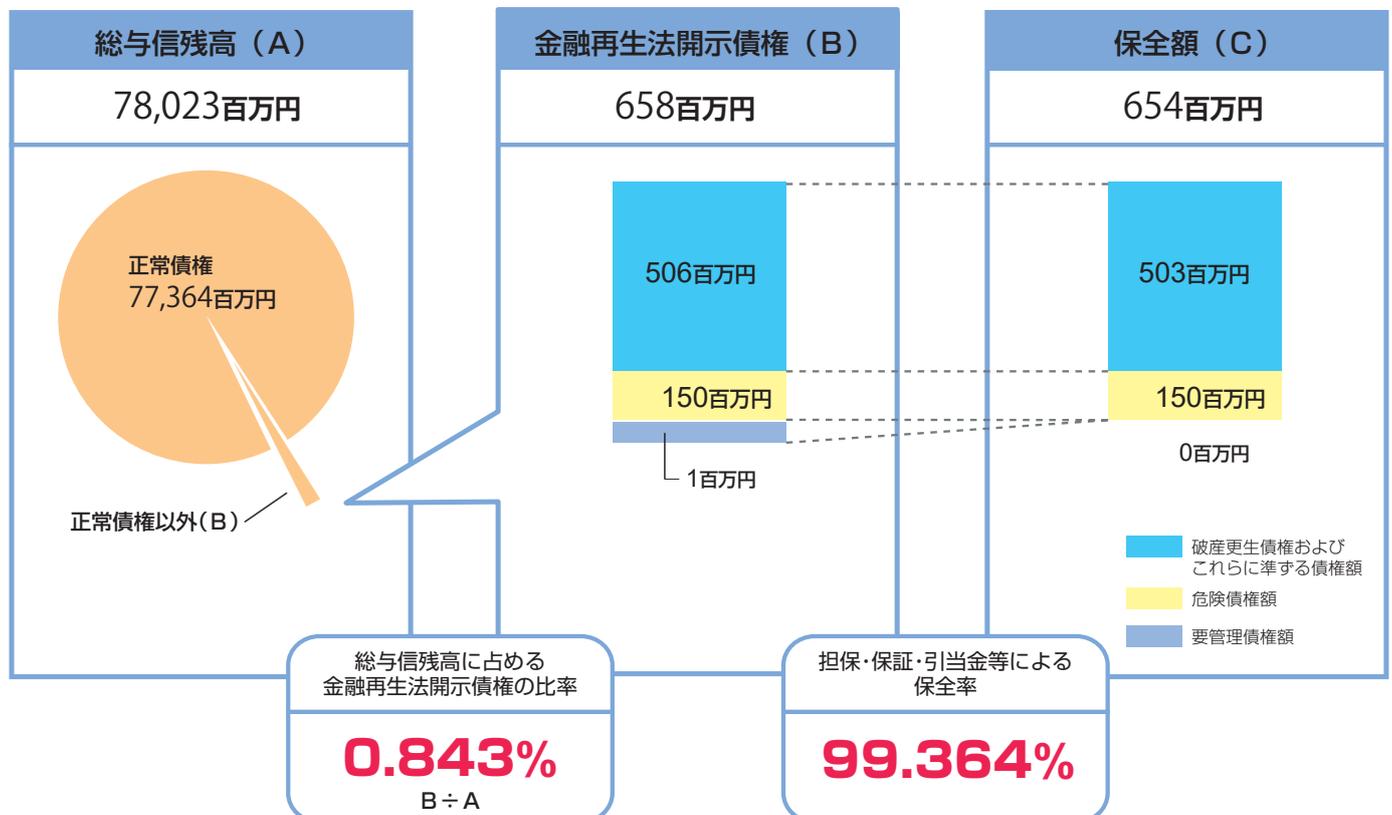
(単位:百万円)

自己資本額		18,837	A
リスク・アセット ^(注1)	リスク・アセット	134,689	B
	オペレーショナル・リスク÷8%	7,526	C
自己資本比率 ^(注2)		13.24%	A÷(B+C)

(注1) BIS規制(自己資本比率規制)に定義された自己資本比率を計算する際の分母に用いる証券や債権などの各種資産のことを指します。

(注2) 万一、運用により損失が発生しても、自己資本が十分確保されていれば、皆さまからお預かりした貯金の払戻しに不足することはありません。つまり、この比率が高いほど安全性は高くなります。なお、当JAは国内業務金融機関の基準4%を大きく上回っています。

金融再生法開示債権の状況



※上記比率は貸出金等のなかにかどのくらい金融再生法の開示債権(全金融機関共通)があるかを示していますので、この比率が低いほど健全な貸出金等が多いといえます。当JAは健全な運用を行っており、堅実な経営をしています。

※貸出金等の回収が困難になるなど万が一の事態に備えて、どのくらい担保や引当金で手当て・保全ができていているかを示しています。当JAはこの率が99.364%であり、十分な保全措置をとっています。

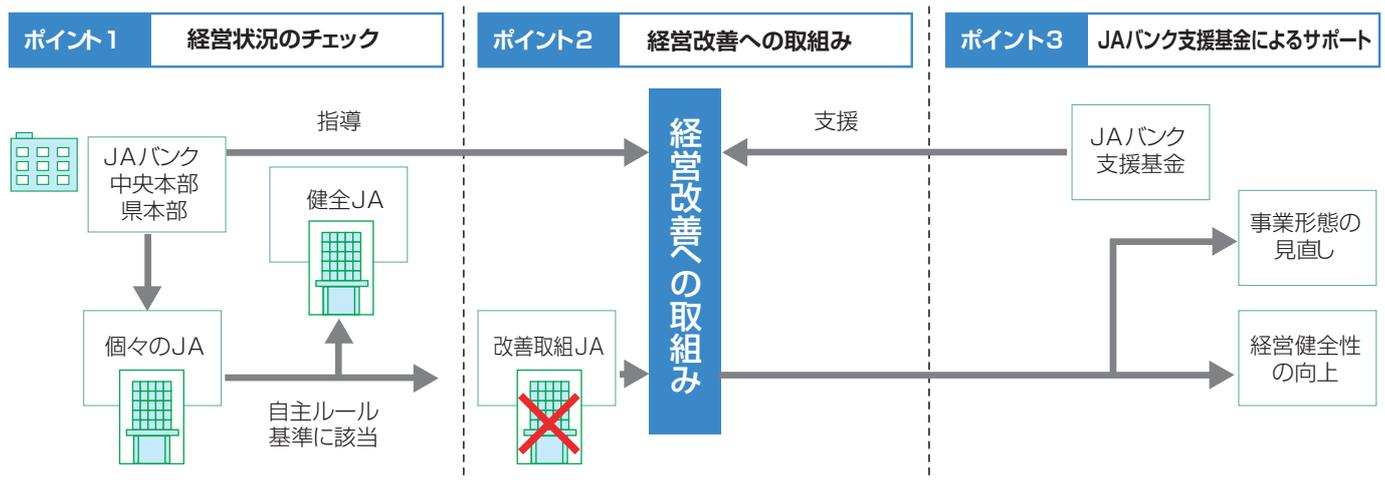
安心を支える2つの制度

セーフティーネットについて

当JAは、リスクに対応した経営と自己資本の充実に努めています。また、万が一の場合でも皆様の貯金はJAバンク制度と貯金保険制度で守られています。

安心① 破綻未然防止システム (JAバンク独自のシステムです。)

JAバンク全体で経営の健全性を確保し、組合員・利用者の皆さまに一層の安心をお届けします。



安心② 貯金保険制度 (国による公的制度です。)

貯金者を法律によって保護する保険制度です。(貯金には保険がかけられています。)

対象貯金等		対象以外貯金等
当座貯金 普通貯金 別段貯金	その他の貯金等 定期貯金、定期積金、 貯蓄貯金等	対象以外貯金等 外貨貯金、譲渡性貯金等
(注1) 決済用貯金(利息がつかない等の条件を満たす貯金)		
全額保証	合算して元本1,000万円までとその利息等(注2)	破綻農水産業協同組合の財産の状況に応じて支払い(一部カットされることがあります。)

(注1)「無利息、要求払い、決済サービスを提供できること」という3つの条件を満たすものです。

(注2) 1,000万円を超える元本とその利息等については、破綻農水産業協同組合の財産の状況に応じて支払われますので、一部カットされることがあります。

店舗一覧 市外局番(054)

本店 TEL.367-3200(代)	飯田支店 TEL.366-0217	草薙支店 TEL.345-3324
興津支店 TEL.369-1121	高部支店 TEL.346-0149	由比支店 TEL.375-2151
小島支店 TEL.393-3111	清水支店 TEL.334-2525	蒲原支店 TEL.385-2156
両河内支店 TEL.395-2221	三保支店 TEL.334-0258	ローンセンター TEL.367-3268
庵原支店 TEL.367-3229	下清水支店 TEL.352-7128	
袖師支店 TEL.365-1122	有度支店 TEL.345-4136	